

内閣総理大臣杯争奪
第39回日本車椅子バスケットボール選手権大会
個人トータル表

2010年5月4日 10時00分開始

2回戦

東京体育館 C - 2

伊丹スーパーフェニックス 39
(近畿)

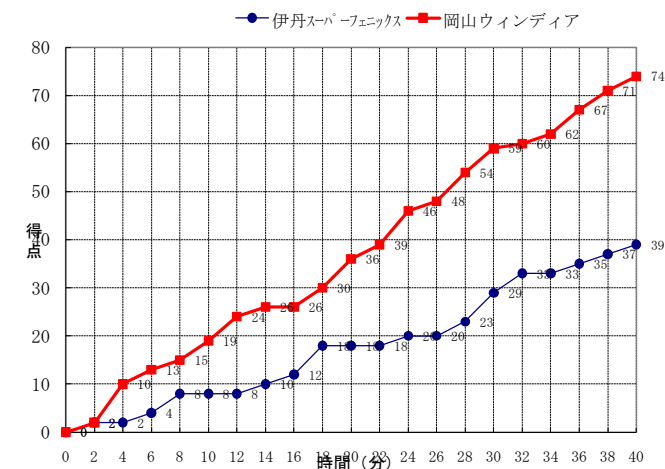
8 1クォーター 19
10 2クォーター 17
11 3クォーター 23
10 4クォーター 15

74 岡山ウィンディア
(中国)

番号	氏名(持ち点)	得点	3P	2P	FT	RB	AT	反則	番号	氏名(持ち点)	得点	3P	2P	FT	RB	AT	反則
* 4	大内 秀之 (3.0)	5	0	2	1	-	-	4	* 4	山田 和宏 (2.0)	13	0	5	3	-	-	2
* 5	樋口 一裕 (2.0)	6	0	3	0	-	-	4	* 6	川崎 皓也 (3.0)	31	1	11	6	-	-	0
7	桑原 旭祥 (2.0)	2	0	1	0	-	-	1	* 7	中谷 聡之 (3.5)	4	0	2	0	-	-	1
* 8	田中 淳 (4.0)	0	0	0	0	-	-	4	8	西村 忍 (2.0)	-	-	-	-	-	-	-
9	池島 圭吾 (1.0)	0	0	0	0	-	-	1	* 9	藪田 勇司 (3.0)	8	0	3	2	-	-	2
* 10	村上 直広 (4.0)	16	0	8	0	-	-	5	* 10	荒石 朋幸 (2.0)	18	0	7	4	-	-	2
11	斉藤 貴大 (1.5)	6	0	3	0	-	-	5	11	岡林 啓造 (1.5)	-	-	-	-	-	-	-
* 13	山本 瞬 (1.0)	4	0	2	0	-	-	3	12	丸山 晴輝 (2.0)	-	-	-	-	-	-	-
									13	浜下 滋充 (1.5)	-	-	-	-	-	-	-
									14	田中 功 (1.0)	-	-	-	-	-	-	-
コーチ	三浦 玄								コーチ	山田 和宏							
Aコーチ	伊藤 壮平								Aコーチ	川崎 琢磨							
マネージャー	田中 桃子								マネージャー	吉竹 珠理							
マネージャー	友成 亜衣								マネージャー	相方 裕佳理							
マネージャー									マネージャー	山口 徹也							
合計		39	0	19	1	0	0	27	合計		74	1	28	15	0	0	7

主審： 金川 光一
副審： 立田 裕志
副審： 沖島 理恵子

得点経過



〔戦評〕

伊丹(白) vs 岡山(黒) の試合。

白先発は#4, #5, #8, #10, #13。黒先発は#4, #6, #7, #9, #10。

1Q: 白がタップを制するものの、黒#6による先制点。

黒のディフェンスは固く、白の速攻を防いでいく。黒#9, #10のシュートが冴え、白が攪乱され気味。動きは良い白だったが、得点につながらない。8vs19で1Q終了。

2Q: 黒のTカップは鉄壁。白の攻撃は完全に阻まれる。2Q残り7分で黒のシュートが乱れがちになるが、白も得点出来ず。

残り3分を切る頃に白#10, #11のシュートが連続するが、残り1:30頃に焦りからかチームファウル5回をカウント。点差が開き18vs36にて2Q終了。

3Q: 黒のピック&ロールに冴えがあり。#4, #6の連携による攪乱は見事。更に#6のランニングシュート、レイアップが光り、白を焦らせる。白の焦りが更に目立ち、オフェンス時にもファウルが。

残り2:00頃、黒のパスワークが乱れ、白の速攻目立つ。29vs59にて3Q終了。

4Q: 開始早々に白の追い上げが始まるが、#10がパーソナルファウル5回にて退場。主砲を欠いた焦りかファウルが連続する。

黒は残り6:00まで白のマンツーマンにより得点出来なかったが、白のチームファウル5回オーバーによりフリースローを得て得点を重ねる。

残り4:00頃、黒のスタミナ切れによりディフェンスに穴が。その穴を突いた白の猛攻も空しく、39vs74にて試合終了。